

# 県出身経営者ら交流

県出身の11人企業経営者らでつくる関東沖縄11協議会(会長・平良忠信)がクリエイト工房社長が元氣だ。会員同士の受発注や業務提携など年間1億8千万円の取引が成立するなど、ビジネス交流が活発になっている。沖縄支部も結成され、企業同士の輪が広がっている。

## 関東沖縄11協議会

### 会員間取引、2億超

関東沖縄11協議会(会長・平良忠信)は、社員研修や新人教育なども数社でまとまってでき、中小企業への貢献などを狙い、2005年に発足した。当初は

県出身者に限っていたが、現在は県外出身でも賛助会員として加入。沖縄支部15社を含め、会員数は49社となった。

会員は毎月の定例・部会で情報交換するほか、インターネット上の交流サイト(SNS)を通じて技術者や業務委託などを募集し、会員同士で人や仕事のやりとりをする。昨年度のアンケートで会員同士の取引は1億8千万円になり、「回答がなかった分を含めると2億円超にはなっている(今井哲子副会長)という。

経費削減の効果もある。会計の宮里尚昌ユニオン情報システム(会長・宮里尚昌)は、東京支部と話し、東京支部に

と話し、東京支部に

と話し、東京支部に